

平成30年度 第1回安城市環境審議会議事録要旨

日 時	平成31年2月15日(金)午後3時～4時30分	
場 所	安城市役所本庁舎災害対策本部室	
出席者	委 員	石川会長、杉浦(朗)副会長、飯尾委員、鈴木委員、岩瀬委員、神谷委員、竹内委員、島田委員、杉浦(ひ)委員、熊田委員、筒井委員、植手委員、中島委員 13名
	事務局	副市長、環境部長、環境都市推進課長、環境都市推進課環境政策係長、環境都市推進課環境衛生係長、環境都市推進課職員、ごみゼロ推進課長、ごみゼロ推進課主幹、ごみゼロ推進課課長補佐
次 第	1 委嘱状交付 2 副市長あいさつ 3 新任委員自己紹介 4 会長選出 5 報告事項 (1)平成30年度版 環境基本計画年次報告「安城市環境報告書」について (2)平成30年度 安城市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)の進捗状況について 6 その他	

1 委嘱状交付

2 副市長あいさつ

3 新任委員自己紹介

4 会長選出

会長：石川委員

5 報告事項

(1)平成30年度版 環境基本計画年次報告「安城市環境報告書」について

【事務局】

- ・環境報告書の構成
- ・環境指標の進捗状況

<資料に関する質問・意見>

【竹内委員】

「低炭素なまちをつくる」(環境報告書6ページ)に関して、夏季のエアコン使用等による室外への熱放出の増加への対応策について、例えば地下熱を利用による室外機の撤去や、あんくるバスの活用等、検討しているものはあるか。

【事務局】

安城市において地下熱の利用は現状進んでいないが、地下熱が有効なエネルギーであることは承知している。国の動向を見ながら検討をすすめていきたい。

あんくるバスについては、ダイヤの改正等行い、活用促進に努めている。

【竹内委員】

スマートハウスとは、具体的に何か。

【事務局】

地球環境にやさしい家。断熱機能があり、自分の家で使うエネルギーを太陽光発電等で自ら賄える家。そういったスマートハウスの普及のために、現在安城市では補助金を設けて促進を図っている。

【竹内委員】

油ヶ淵の水質について、なかなか改善が難しいとのことだが、現在の対策は。

【事務局】

油ヶ淵には半場川と長田川の2つの川から、安城市街地から生活排水が流入している。油ヶ淵の底に、流入した汚濁物質が溜まり、湧き出ているということが分かっており、対策が難しい状況。愛知県でも砂を用いて底に蓋をする対策等とっているが、効果が表れていない。今後も対策を考えていきたい。

【中島委員】

買取価格の低下から、現在新たに太陽光を設置する人は減少傾向にある。

市として、既築住宅についても設置を促進させるような施策はあるのか。

【事務局】

新築の家は意欲的に設置してもらえるが、既築住宅については難しい状態。

既築住宅に設置する上では、新しく太陽光パネルのみ設置するだけでなく、追加の設備設置や工事が必要になる場合や、建物が古く太陽光の設置に合致しない場合もあり、設置に障害がある。

次期環境基本計画策定の際には、既築住宅への促進も含めて低炭素なまちづくりについて検討をすすめていきたい。

【杉浦（朗）委員】

区域施策編の平成27年度数値について、農林水産部門が基準年度比で44.9%増加ということだが算出方法を教えてほしい。

【事務局】

数値の算出は、国の統計の数値を利用しているが、利用していた統計の算定方針が途中で変わったため数値が大きく変動している。

基準年度の数値も、現在は変更後の算出方法による数値に変わっているため、排出量そのものが大幅に増えたのではなく、統計上の問題です。

【杉浦（朗）委員】

統計上の問題であるなら、今後は注釈等をつけていただきたい。

【竹内委員】

安城市は明治用水や工業用水、都市の水道によって、多くの人が矢作川の水源に頼っている状況であるが、水源の保全については、市民になかなか啓発できていない状況だと思われます。

現状愛知県で流域マネジメント計画を作っているのは豊田市と岡崎市のみ。安城市に水源はないが、水を使う側として、水源に対する意識啓発を行っていくべき。

「明治用水を学ぶ環境学習講座」（環境報告書 22 ページ）の実施回数では少ない。また、今後流域マネジメント計画を策定する予定はあるのか。

【事務局】

環境部門だけで考えられるものではないため、企画部門と協議し検討していきたい。

(2) 平成30年度 安城市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の進捗状況について

【事務局】

- ・事務事業編の構成
- ・温室効果ガス排出状況

<資料に関する質問・意見>

【中島委員】

学校にエアコンをつけるという話があったが、学校の屋根にはまだ太陽光を設置できる余地がある。電気を使用するだけでなく太陽光により電気をつくることを同時にすすめてほしい。

<審議会に対する意見>

【飯尾委員】

審議会の場で、報告のみされても意見は出にくい。

現時点での問題点を挙げ、意見やアイデアを委員からもらうような場の方がよい。

【鈴木委員】

今回の報告は中間報告という形になると思うが、目標値と現状値の提示のみのため、計画初年度の数値や、進捗状況によって○×をつける等、自己評価があるものや多く事例など踏まえて説明するとより分かりやすい。

6 その他

<平成31年度 環境審議会の開催予定について>

【事務局】

現環境基本計画は、平成13年3月に策定され、計画期間は平成32年度までの20年間の計画です。そのため、平成31年度より「第2次環境基本計画」策定のための準備が始まります。あわせて「第2次環境基本計画」策定のための審議会を、次年度に複数回開催予定ですので、ご協力よろしく願いいたします。

(以上)